

名古屋能楽堂

# 正月特別公演

## 東海ゆかりの能・狂言

—三重県多気郡ゆかりの能 尾張・美濃ゆかりの狂言—

### 「恵みの年」を祈って

伊勢・斎宮村の参宮街道の丁字路に、節分の深夜、何者かが絵馬を掛けていく。  
白い馬ならその年は太陽に恵まれ、黒なら雨に恵まれる…。室町時代、東福寺僧侶の日記『碧山日録』にも記された伝承を下敷きに、天岩戸神話を描いた伊勢の“ご当地もの”、それが能「絵馬」です。今回は、岩戸の三神が揃う後半の場面を賑々しく。恒例の「翁」と、三人のお百姓が豊作を喜ぶ狂言「三人夫」とともにお届けします。新しい年は、いい年になあれ!

半能

狂言

能

「絵馬」(観世流)  
シテ 久田三津子

「三人夫」(和泉流)  
シテ 野口 隆行

「翁」(観世流)  
翁 久田 勘鷗  
千歳 吉沢 旭  
三番叟 井上松次郎

令和3年

# 1月3日(日)

### 13:00開演(12:00開場)

※能「翁」開演後30分間は入退場できませんのでご注意ください。

### 全指定席

正面席A ……………5,200円

正面席B、中・脇正面席 ……4,200円

学生券(正面席A以外) ……2,000円

※学生は25歳以下を対象とします。

※感染予防のため、ご来館の際はマスクをご着用ください。

マスクを着用でない方の来館はご遠慮願います。

※入場時の検温にご協力をお願いします。(37.5度以上の場合は入場をお断りします)

※本公演のイヤホン・ガイドはございません。



半能「絵馬」(観世流)  
(写真提供:公益社団法人 能楽協会)

能「翁」(観世流)  
久田 勘鷗  
(撮影:杉浦賢次)

10月28日(水)より  
前売券発売



※能「翁」開演後30分間は入退場できませんのでご注意ください。

能  
翁(観世流)



翁 久田 勘鷗  
千歳 吉沢 旭  
三番叟 井上松次郎  
面箱持 井上 蒼大

笛 竹市 学  
脇鼓 荒木 健作  
小鼓頭取 久田俊一郎  
脇鼓 清水 皓祐  
大鼓 河村眞之介

後見 祖父江修一  
下川 宜長

狂言後見 鹿島 俊裕  
佐藤 融

地謡 松山 裕貴  
伊藤 幸親  
上田 貴弘  
山中 雅志  
本田 勲

狂言

三人夫(和泉流)

休憩二十分

シテ 美濃の百姓 野口 隆行  
アド 淡路の百姓 藤波 徹  
小アド 尾張の百姓 伊藤 泰  
小アド 奏者 野村又三郎  
小アド

笛 大野 誠  
小鼓 後藤嘉津幸  
大鼓 河村総一郎  
太鼓 加藤 洋輝  
後見 松田 高義

半能  
絵馬(観世流)

シテ 天照大神 久田三津子  
ツレ 天鈿女命 瀬戸 洋子  
ツレ 手力雄命 伊藤 裕貴  
ワキ 勅使 飯富 雅介  
ワキ 従者 橋本 幸  
ワキツレ 従者 梶元 正樹

笛 竹市 学  
小鼓 後藤嘉津幸  
大鼓 河村裕一郎  
太鼓 加藤 洋輝

後見 久田 勘鷗  
上田 貴弘

地謡 吉沢 旭  
松山 幸親  
下川 宜長  
山中 雅志  
本田 勲

(午後四時頃終了予定)

●止むを得ず曲目、出演者等が変更となる場合があります。  
●上演中の写真撮影・ビデオ撮影、録音は事前に許可を受けた方以外はご遠慮ください。

正月特別公演

事前学習講座は中止となりました。何卒ご了承ください。

◆能解説「翁」(おきな)

新春。切火で清められた舞台上に、深斎をすませた演者が、面箱・翁・千歳・三番叟...と続いて全員が登場する。「切火」とは、この場合、幕際から火打石で火を飛ばすこと。後見の役割。清新の気が漲る。翁は狩衣・指貫・面箱・千歳・三番叟は侍烏帽子に直垂、囃子・地謡などは侍烏帽子に素襖を着る。「翁」の舞は三部から成り立っていて、最初の千歳は「鳴るは滝の水...」と謡い出し、若々しく調爽とした舞。次に翁の面を舞台上でつけたシテは祈禱的な意味合いを持つ重厚な舞を舞う。その中で、角・脇座前・中央で三回ずつ拍子を踏む。これを「天・地・人の拍子」と称する。翁と千歳の退場のあと、三番叟の賑やかな舞となる。はじめの部分を「揉之段」、黒式尉の面をつけ、鈴を持った後半部の舞を「鈴之段」と称する。天下泰平、国土安穩を祈る儀式能。新年の翁。それはさわやかな日本の新春。

◆狂言解説「三人夫」(さんびんご)

年貢を納めに都へ向かう淡路・尾張・美濃の百姓が、道中偶々出逢って同行の運びとなります。一年を締めくくる年貢納めを無事に務めた三人は、奏者からそれぞれの国の名を織り込んだ和歌の共作を所望されて...。天下泰平・五穀豊穡など安寧と繁栄を描く目出度い祝言性を持ちながら、狂言らしい可笑しみも散りばめられています。また「年貢納め」と聞く、資産を取り上げられるが如くマイナスイメージな思考となりがちですが、今年も万事無事に穀物を収穫する事が出来た故に納める物も相整った、というプラスの考え方で一年を凌いだ安堵感が伝わってきます。「口ナ禍、殺伐とした旧年を一蹴し乗り切るべく、ほのぼのとした作品を通して新春を寿いでいただければとの願いも込めたいと思います。(井上松次郎)

◆能解説「絵馬」(えま)

今回は「半能」で後半のみの上演です。まず舞台正面奥に台に乗った「宮」の作り物が出されます。これは前半までは伊勢神宮齋宮の絵馬堂です。後半では「天の岩戸」とその役割を代えながら大きな存在感を出しています。まず、あらすじですが、大晦日の夜、時の帝(大炊笠)の臣下が宝物を捧げる勅使(ワキ)として伊勢神宮に遣わされ、齋宮に参拝しているところの夜、老夫婦(シテとツレ)が白い馬の絵馬と黒い馬の絵馬をそれぞれ携えて参詣に来ました。これは毎年の行事で意味があり、白の絵馬が掛けられればその明くる年は晴れを占い、黒ならば雨と、毎年それを占っていたのですが、この年は老夫婦で言い争った末最後には、二つの絵馬を並べて掛け万民楽しむ世にしようとして祈願しました。その老夫婦は勅使達に、私達は伊勢の二柱の神と明かし、夜明けにまた逢いましょうと姿を消しました。ここまでは前半です。

今回の半能では前シテ前ツレの老夫婦の登場から退場までを全てはぶき絵馬の神事のお話があります。勅使(ワキ)達の前にまず男神(手力雄命)と女神(天鈿女命)それに天照大神が現れ、舞を見せ、神話に描かれる二天の岩戸隠れの有様を再現して見せ、国土安穩を寿ぎます。(久田勘鷗)

チケット料金(税込み) \*前売券発売日 令和2年10月28日(水)

全指定席	正面席A	正面席B・中正面席・脇正面席	
		一般 Adult	学生 Student under 25 years old
前売 Advance sale	5,200円	4,200円	2,000円

\*学生券は25歳以下を対象とします。\*未就学児のご入場はお断りいたします。

\*事業団友の会会員・障がい者手帳等をお持ちの方(付添者1名含む)は400円引き(学生席は200円引きです)  
(名古屋能楽堂・事業団チケットガイド・事業団施設窓口のみ、各割引の併用はできません。)

前売券取扱所 Ticket Office

名古屋能楽堂/TEL.052-231-0088

\*前売券発売日当日は、お電話が繋がりにくいことがあります。

名古屋市文化振興事業団チケットガイド/TEL.052-249-9387

(平日9:00~17:00/チケット郵送可)

名古屋市文化振興事業団が管理する文化施設窓口/土日祝日も営業>でも

お求めいただけます。

(江求休館などがありますので、ホームページでご確認ください。)



【感染予防への取り組みとお願い】

- ◎感染予防のため、ご来館の際はマスクをご着用ください。マスクを着用でない方の来館はご遠慮願います。
- ◎入場時の検温にご協力をお願いします。37.5度以上の場合は入場をお断りします。
- ◎チケットの半券にお名前と連絡先電話番号をご記入ください。ご記入いただきました個人情報、新型コロナウイルス感染者が発生した場合などに必要に応じて(保健所等の公的機関へ)提供されます。一定期間経過後に適切に破棄させていただきます。
- ◎本公演のイヤホン・ガイドはございません。
- ◎本公演の座席は定員の半分以下の数で、お客様同士の距離を保っていただくため市松模様状に配置しております。
- ◎本公演は名古屋市の「文化施設における新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン」に基づき実施いたします。ガイドラインに基づいた対策にご理解・ご協力をお願いいたします。

公演についての最新の情報は名古屋能楽堂ホームページをご覧ください。



https://www.bunka758.or.jp/scd24\_top.html

\*外国籍が証明できるパスポート等を持参された方には前売・当日とも割引致します。(名古屋能楽堂取扱いのみ)  
Discount is available by showing passport or other proof of foreign nationality. (at Nagoya Noh Theater only)

お問い合わせ/名古屋能楽堂 TEL 052-231-0088 FAX 052-231-8756